

広報

第75号



日大山形

令和3年9月28日発行

つかんだ

夢舞台



18度目の王者！

Boys Be Ambitious! 4年ぶり甲子園出場!

第103回 全国高等学校野球選手権大会

ベスト16 進出!

「繋ぐ想い、挑む夏」

第一〇三回全国高等学校野球選手権大会のキャッチフレーズである。今大会は甲子園大会の歴史において特別な夏であり、全国の高校球児にとっても様々な想いの詰まった特別な大会であった。

四年ぶり十八回目の県制覇

七月二十四日。この日四年ぶり十八回目の夏の甲子園大会出場の切符を手にした。大声援を背に受け躍動した今年のチームは本場に遅しいチームであった。一度は五点差あったリードが六回に一点差まで詰め寄せられた。その後のピンチも気迫あふれるプレーでしのぎ、九回裏三つ目のアウトを取った瞬間、喜びを爆発させた。フェンスにぶつかりながらボールをつかんだプレーやピンチに渾身の直球を投げ込む勇気は今年の日大山形らしさを象徴するプレーであった。

二年分の想いを胸に

県大会決勝後のインタビューで、荒木監督から「二年分頑張ろうと思って」という言葉が発せられた。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、昨年卒業していった先輩たちは夏の大会に挑むことすら許されなかった。だからこそ、先輩から託された想いを繋ぎ、選手もスタッフも二年分を頑張ろうと挑んだ夏の大会

であった。全国の高校球児が涙した昨年の夏から二年、甲子園を決めた本校は、二年ぶりに開催された甲子園大会の開幕ゲームを引き当てる。選手たちはこの歴史的意義のある一戦に向かって気持を新たに歩みだした。

開幕戦 米子東戦

開会式で小松大谷高校主将が「高校球児の真の姿を見せることを誓います」と宣言し、甲子園が開幕した。まさに両校の選手たちは高校球児らしくはつらつと躍動した。

先発した齋藤は九回まで無失点、打線も奮起し四対〇で最終回を迎えた。九回表一点を取られてなおノーアウト満塁のピンチに救援した滝口は鬼気迫る表情で立ち向かい見事三者連続三振に打ち取った。この勝利は本校にとってベスト4に輝いた二〇一三年以来の八年ぶりの勝利であった。

年ぶりの勝利であった。

二回戦 浦和学院戦

優勝候補の一角ともいわれた浦和学院との一戦では初回に二点先制されるもその裏、三番佐藤、四番伊藤の連続タイムリーで同点に追いつき、三回には再び三番佐藤、六番梅津のタイムリーで勝ち越しに成功した。その後一点差まで詰め寄せられたが、体を張った鉄壁の守備で逃げ切り、三回戦へ進出した。

三回戦 石見智翠館戦

ベスト8をかけた戦いは、一進一退の攻防が続いた。一〇、一一、一二、一二で迎えた七回表、日大山形は2アウトランナー無しから佐藤、伊藤、塩野、梅津の四連打で勝ち越しに成功した。しかし、その裏、再度同点に追いつかれるまさにシソーゲームであった。

最後に

これまでいただきました温かいご支援とご声援に心より感謝いたします。皆様のおかげで八年ぶりに甲子園で校歌を歌うことができました。これからも精一杯努力を積み重ね、再び日本一へ向けて挑戦していきます。ありがとうございます。本場の日大山形野球部 一同

た。終盤に入り両校の気持ちのこもったプレーに送られる盛大な拍手は、大観衆にも負けないものとなり、球場全体が選手たちに勇気と力を与えているように感じた。球場が一体となったその中心には、必死に、そしてひた向きに、勝利に向かってボールを追いかける両校の選手たちの姿があった。最終回、最後の打球がセンター前に抜けた瞬間、このチームの日本一に向けた挑戦が終わった。涙する選手たちであったが、口をそろえて、「大会を開催してもらえたことに感謝しています。甲子園は素晴らしいところでした。最高の仲間と最高の夏が過ごせました。」と語っていた。

三年 主将 佐藤拓斗(藤島)

甲子園でのプレーは夢のような不思議な時間でした。今年の甲子園大会は当たり前前に開催される大会ではない、「二年分頑張る」と感謝と闘志を胸に臨んだ大会でした。結果はベスト16



でした。目標には届かず、悔しさは残りますが、チームが最後まで心を一つにして全力でプレーできたことは、生涯忘れられない思い出になると思います。

たくさん応援していただき、「応援」というものは本当に力になるといふことを実感しました。そして、大会を通して、応援だけでなくいろいろな面で多くの人たちとの繋がりを感しました。甲子園で勝つことにより、たくさんの方々と一緒に喜んでくださり、自分たちの喜びは何倍にもなりました。小さいころから憧れ続けてきた甲子園は、想像をはるかに超える場所であり、またここで野球をしたいと思わせてくれる場所でした。大会関係者の方々、ホテルの方々、応援してくださった方々、本当にありがとうございます。

三年 齋藤賢史(三川中)

応援ありがとうございます。日本一にはなれませんが、最高の仲間と目標に向かって練習できたことは一生の財産です。最

山形県大会										
2回戦	新庄	神室	産業	11	-	1				
3回戦	新庄	北		12	-	2				
準々決勝	米沢	中央		4	-	2				
準決勝	酒田	光陵		10	-	2				
決勝	東海	大山形		9	-	7				
甲子園大会										
1回戦										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
米子東	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
日大山形	1	0	2	0	0	1	0	0	X	4
2回戦										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
浦和学院	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3
日大山形	2	0	2	0	0	0	0	0	X	4
3回戦										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
日大山形	1	0	0	0	0	0	3	0	0	4
石見智翠館	0	0	0	1	0	1	2	0	1	5



高の舞台で打球ができたこと、高校野球の最後を甲子園で終われたことがよかったです。またあの場所に帰って自分たちが叶えられなかった目標を後輩には達成してほしいです。

二年 梅津康生(采沢一中)
最高の先輩方と甲子園で戦えたことはとてもいい経験でした。目標である日本一には届きませんでした。下級生である私たちが先輩方の想いを受け継ぎ、日本一を達成する事、また、日大山形らしい熱く泥臭い野球を皆さんに見て頂けるよう頑張っています。

三年 新田大樹(山形六中)
小さい頃からの憧れの舞台であった甲子園で三回も試合ができたのは一生の思い出です。応援していただいた皆様のおかげで甲子園では楽しく自分らしいプレーをすることができました。この経験を人生の糧としこれから頑張っていきます。県大会から甲子園までの応援本当にありがとうございました。

三年 秋葉光大(山形四中)
県大会、甲子園大会の応援ありがとうございました。甲子園という場所は自分を成長させてくれる最高の場所でした。この最高の仲間と野球が出来た事は一生の宝物です。後輩たちには日本一という目標を成し遂げて下さった皆様、本当にありがとうございます。

二年 大場陽南斗(舟形中)
県大会、甲子園大会での応援ありがとうございました。小さい頃からの夢であった甲子園でプレーすることができてとても幸せでした。目標であった日本一を達成することはできませんでしたが、憧れの先輩方とこの大舞台で一緒にプレーすることができて最高でした。この悔しさをバネに自分達の代でもう一度甲子園に行き、日本一を目指して前に進んでいきます。

三年 伊藤翔海(町田南中)
幼い頃からの夢であった「甲子園」という舞台は今まで一番野球のやりやすい球場でした。県大会では見ることができなかったプレーも甲子園では見ることができました。今までの恩返しをプレーで表せたいと思います。三年間の、たくさんの人たちへの感謝を忘れずに、大学野球でも泥臭く頑張りたいです。



三年 榎本拓海(山形一中)
幼い頃からの夢の甲子園の舞台で最高の仲間たちとプレー出来た事は、一生の思い出となりました。自分達の目標であった日本一には届きませんでした。日本一は届きませんが、先輩方には必ず日本一を成し遂げてもらいたいです。応援して下さい。皆様、本当にありがとうございます。

三年 塩野叶人(東根中)
「日大山形に入学し甲子園でプレーをする」という目標を達成できた事はとても嬉しく、今後の人生においても自信がつく貴重な体験でした。三年生の仲間と甲子園で高校野球を終えることができて最高の夏になりました。後輩には再び甲子園に出場し日大山形の歴史を塗り替えることに挑戦してほしいです。

三年 滝口琉偉(東根中)
県大会、甲子園大会での応援、本当にありがとうございました。目標であった甲子園でプレーできたことを何より嬉しく思います。ベスト16で終わってしまったものの熱く、泥臭く、粘り強い野球ができたと思

ます。この経験をこれから野球人生に生かしてこれからも頑張ります。

二年 大類興雅(利府中)
憧れの甲子園にこのメンバーで行けてとても嬉しかったです。一回戦二回戦と勝ち抜いてベスト8をかけた試合、同点で迎えた九回裏ノーアウトランナー一塁で滝口さんからマウンドを受け継ぎましたが、サヨナラ打を打たれてしまい、すごく悔いの残る甲子園になってしまいました。先輩たちの夏を終わらせてしまつて悔しい思いしかありません。この悔しい気持ちを忘れず練習に励み、また来年甲子園に戻って先輩たちの記録を越えられるように頑張りたいです。

三年 鐘水 快(山形五中)
野球を始めたところからの夢であり、目標だった甲子園で仲間たちと野球が出来たことは一生の宝です。目標であった日本一にはなれませんでした。たくさんの方の応援や支えのおかげでここまで来ることが出来ました。本当にありがとうございました。これから人生でも、この経験を活かしていきたいです。

三年 鹿野一斗(山形九中)
コロナ禍の中、甲子園大会が開催されたことに感謝しています。その中で皆さんからの応援や励ましがあったからこそ、甲子園という素

晴らしい舞台で校歌を歌うことが出来ました。これまでに支えて下さつて本当にありがとうございます。

三年 井上文慈(日新中)
県大会から甲子園大会までの応援、本当にありがとうございました。目標達成とはなりませんでしたが、甲子園の舞台では日大山形の熱く泥臭く粘り強い野球ができ、堂々とプレーすることができたので高校野球に後悔はありません。来年も伝統を引き継いでくれると信じています。応援よろしくお願いします。

三年 児珠 颯(陵南中)
ずっと目標にしてきた「日本一」に届かず悔しい思いをしました。ですが、小学生の頃からの夢であった甲子園に出場する事ができ嬉しかったです。今まで支えていただいた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。県大会、甲子園大会での応援ありがとうございました。

ことは一生の思い出です。指導者の方々、地域の方々、応援ありがとうございました。

三年 渡邊恭平(山形六中)
幼い頃からの父の背を追いついた甲子園に行けたことをとても嬉しく思います。ベスト8にあと一步での敗退は悔しかったですが最高の仲間と最高の舞台で自分ができることを存分に発揮できました。後輩の皆さんも甲子園を目指して頑張ってください。応援して下さい。皆様、本当にありがとうございました。

三年 豊川夢虎(中山中)
甲子園はテレビで見るとりもすごく迫力がありました。甲子園優勝という目標は達成できませんでしたが、この仲間と甲子園に来られたことが何より嬉しかったです。後輩たちにはこの場所に来て優勝して欲しいです。応援してください。皆様ありがとうございます。



第六十三回 桜華祭

二年ぶりの桜華祭を開催!!

八月二十八日・二十九日の二日間にわたって、二年ぶりの桜華祭が行われた。このコロナ禍にあつて、本校の桜華祭の目玉であった「出店」ができない、一般の観客への公開ができない、その他多くの制限や障壁がある中での開催となったが、生徒たちはその状況にも屈せず、準備期間から創意工夫を凝らし、これまでとは違う新しい桜華祭を創り上げた。



当日は全校生徒を二つのグループに分け、一方は体育館行事の観覧、もう一方は各教室での企画の鑑賞を行った。

体育館行事は全国トップクラスを誇るダンスドリル部の演技披露、全国大会出場常連の放送部の作品上映、今年度も県大会で金賞獲得の吹奏楽部による演奏、さらには音楽部生徒によるライブや吹奏楽部の男子生徒による楽器の演奏をはじめとするフリーステージなどが行われた。



教室を使った各部活動や各クラスの企画展示も観る者の目を楽しませ、その発想や表現に息をのんだ。近年特に文化部の活躍も目覚ましいものがあり、その存在を大なるものにしていく。生物部の展示発表、写真部・美術部・書道部・漫画部・図書委員会の展示も見ごたえ十分であった。また、各クラス企画は「黒板アート&教室装飾選手権」を実施した。

鳥津校長は開会行事の話の中で「カルチャー」の語源に触れ、「文化は心を耕すものだ。この桜華祭とおし、ぜひ心を耕す機会としてほしい」と生徒に語りかけた。思いどおりにいかないことが多かったこの二年間の思いを表現へと変え、高校生らしい躍動感や疾走感を見た桜華祭となった。



体育祭

団結の輪、 歓喜の輪

一学期期末考査を終えた開放感の中、二・三年の体育祭が本校体育館にて開催された。感染防止対策を徹底しつつも新たな試み―新種目の実施―を実現できたことは、大きな収穫であった。従来のクラスマッチ形式を



- **アームレスリング**
一位 2組 二位 7組
三位 4組・9組
- **女子バレーボール**
一位 6組 二位 5組
三位 2組・8組
- **男子バレーボール**
一位 8組 二位 1組
三位 6組・7組
- **ドッジボール**
一位 3組 二位 6組
三位 4組・10組
- **卓球**
一位 6組 二位 5組
三位 1組・8組

引き継ぎつつ、学年ごとに競技内容を工夫して行われた今年度の体育祭。七月十三日には三年、十四日には二年のアスリートたちが躍動し、笑顔が弾けた。教室とはひと味違うフィールドで、目標に向かい一致団結した生徒たちに拍手という名の金メダルを送りたい。なお、一学年の体育祭は十一月中旬の開催を予定している。



- **サッカーテニス**
一位 1組 二位 10組
三位 3組・8組
- **オセロ**
一位 9組 二位 7組
三位 2組・8組
- **クラス対抗リレー**
一位 7組 二位 1組
三位 5組
- **総合成績**
一位 1組 二位 7組
三位 6組



- **ハンドボールシュート**
一位 1組 二位 10組
三位 2組・9組
- **フリースロー**
一位 4組 二位 3組
三位 1組・8組
- **ドッジボール**
一位 8組 二位 2組
三位 5組・7組
- **卓球**
一位 9組 二位 10組
三位 5組・6組
- **一対一綱引き**
一位 3組 二位 5組
三位 8組・10組
- **クラス対抗リレー**
一位 4組 二位 8組
三位 6組
- **総合成績**
一位 4組 二位 8組
三位 3組



防災講座

テーマ…災害に備える〜自然災害から身を守る〜



七月十五日に一年生を対象とした防災講座が開催された。講師として、日本赤十字社山形県支部青少年赤十字指導担当の佐藤博明氏をお迎えし、「災害に備える〜自然災害から身を守る〜」をテーマにご講演いただいた。生徒たちは、地震、台風、水害、落雷などの自然災害に関して、令和二年七月の山形県豪雨災害などの具体的な事例や自然災害の現状、原因などについての説明を聞き、災害からの

正しい危険回避行動や日常の備えの重要性について理解を深めた。また、講演の中では、各自が持参したタブレットを活用し、講師から配信された資料の中のワークシートに正しい語句や文章を書き込むことを通して、災害から身を守るための適切な対応力を培う必要性を意識づけることができた。講演の後には、各教室に戻ってクラスごとに防災講座の振り返りにも取り組み学びを深めた。

消費者講座

七月九日、三年生を対象とした消費者講座が開かれた。講師として、山形県消費生活センター消費生活相談員の奥山好正氏をお迎えし、「消費生活について、今知っておきたいこと」をテーマにご講演いただいた。

改正された民法が二〇二二年四月に施行されるのに伴い、成年年齢が十八歳へ引き下げられることから、今まで未成年を守っていた未成年者契約取り消しができなくなるなど、高校

在学中であってもトラブルに巻き込まれる危険性が高まっている。生徒がトラブルに巻き込まれることを防ぐため、消費者の心得やクレジットカードの正しい使い方、マルチ商法を始めとする悪質商法の実例などの説明を受けた。トラブルに巻き込まれた際の相談窓口である消費者ホットライン「1888（いやや）」の紹介もいただいた。今回の講話を受けて、生徒たちは消費者としての自覚を深めたよ



生活指導講話



本校では毎年、生徒たちが日々の社会生活を送るうえで身の回りに潜む様々な危険を避け、トラブル等に巻き込まれることがないように啓発を促すことを目的として、外部から専門の講師の方々を招いた生活指導講話を実施している。今年度も入学後すぐに行われた「交通安全教室」(一年

生)、四月末の「SNSトラブルと薬物乱用防止について」(一・二年生)、七月には「十代の性について」(一・二年生)、そして九月には「タバコの害について」(二年生)がそれぞれ実施された。生徒たちは、身近で具体的な事例などを交えた説明を熱心に聞きながら、危険の回避やトラブルの防止にいかに取り組みむべきかを真剣に考える有意義な機会となった。

国公立大学進学講演会

六月十二日・十五日に、受験予備校の講師を招いて開催された。大学入学共通テストをはじめとする国公立大学入試の現状と、受験生として今やるべきことに関する説明が中心であった。進路実現のためには適切な情報収集に加え、入試本番を見据えた学習計画が不可欠である。部活動との両立・

苦手科目へのアプローチなど、先輩たちが実際に行った工夫についての紹介も大いに参考となったことだろう。「毎日の勉強を積み重ねることができる生徒」「絶対にあきらめない生徒」、講師の説く《現役合格の条件》を会場の生徒全員が受け止め、「必ず現役合格する」と決意を固めたに違いない。



部活動報告

運動部

野球部

・第六十八回春季東北地区高等学校野球山形県大会 準優勝
・第一〇三回全国高等学校野球選手権山形大会 優勝
・第一〇三回全国高等学校野球選手権大会 ベスト16

男子バスケットボール部

・村山地区高等学校総合体育大会 三位
・山形県高等学校総合体育大会 ベスト8

サッカー部

・村山地区高等学校総合体育大会 三位
・山形県高等学校総合体育大会 ベスト8

剣道部

・村山地区高等学校総合体育大会 男子 優勝
・山形県高等学校総合体育大会 男子 二位

バドミントン部

・村山地区高等学校総合体育大会 男子 ベスト8
・女子 ベスト16
・山形県高等学校総合体育大会 男子 出場
・山形県剣道大会 優勝

陸上部

・村山地区高等学校総合体育大会 三位
・安達愛唯斗(蔵王一中)
・四〇〇mリレー 八位
・走り高跳び
・三位 渡邊 陽仁(山大附中)
・走り幅跳び
・四位 石川 颯生(陵南中)
・四位 砲丸投げ
・二位 庄司 磨生(河北中)
・二位 砲丸投げ
・二位 山口 心愛(東根一中)
・二位 庄司 磨生(河北中)
・四位 山口 心愛(東根一中)
・山形県高等学校総合体育大会 走り高跳び
・六位 渡邊 陽仁(山大附中)
・四位 砲丸投げ
・四位 庄司 磨生(河北中)
・五位 砲丸投げ
・五位 山口 心愛(東根一中)

柔道部

・村山地区高等学校総合体育大会 男子 五位
・90kg級
・八位 宮古 瑛(稲岡中)
・山形県高等学校総合体育大会 男子 団体 出場
・ベスト16
・宮古 瑛(稲岡中)
・国民体育大会山形県予選会 男子 団体 出場

卓球部

・村山地区新人大会 団体 出場
・県大会出場権獲得
・個人 仁藤 尚哉(葉山中)
・山形県高等学校総合体育大会 個人 三回戦進出
・仁藤 尚哉(葉山中)
・国民体育大会村山地区予選会 個人 三回戦進出
・木村 成伸(山大中)
・堀 隆仁(陵南中)
・片桐 稜太(山形七中)

ボクシング部

・村山地区高等学校総合体育大会 団体 優勝
・ライトフライ級
・優勝 菅原 輝真(山形四中)
・優勝 角田 琉星(山形十中)
・バンタム級
・優勝 斎藤喜代太(陵西中)
・ライト級
・優勝 布施 友将(山形三中)
・ライト級B
・優勝 松田 蓮(山形七中)
・ライトウェルター級
・優勝 半田 隼(山形五中)
・ウェルター級
・優勝 戸田 匠人(大石田中)
・ミドル級A
・優勝 結城 輝英(山形七中)
・ミドル級B
・優勝 木村 太郎(山形一中)

・山形県高等学校総合体育大会 男子 三位
・砲丸投げ
・三位 庄司 磨生(河北中)
・二位 庄司 磨生(河北中)
・八〇〇m
・六位 山口 奈々(陵南中)

・山形県高等学校総合体育大会 団体 優勝
・ピン級
・優勝 安食 諒哉(陵南中)
・ライトフライ級
・優勝 菅原 輝真(山形四中)
・三位 伊藤 れお(天童二中)
・フライ級
・優勝 角田 琉星(山形十中)
・バンタム級
・優勝 斎藤喜代太(陵西中)
・ライト級
・優勝 松田 蓮(山形七中)
・三位 布施 友将(山形三中)
・ライトウェルター級
・優勝 奥山 湧介(天童三中)
・二位 半田 隼(山形五中)
・ウェルター級
・優勝 戸田 匠人(大石田中)
・二位 齋藤 匡(大石田中)
・ミドル級
・優勝 結城 輝英(山形七中)
・ピン級
・優勝 木村 太郎(山形一中)

ソフトテニス部

・村山地区高等学校総合体育大会 男子 団体 県大会出場
・女子 個人 四ペア 県大会出場
・団体 県大会出場
・山形県高等学校総合体育大会 男子 団体 二回戦進出
・女子 個人 二回戦進出
・団体 出場

水泳部

・ジャパンオープン
・男子二〇〇m背泳ぎ
・出場 高内 愛斗(山形十中)
・山形県高等学校総合体育大会 男子 団体 優勝
・一〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・八位 伊藤 太一(金井中)
・五〇m自由形
・優勝 高内 愛斗(山形十中)
・二位 船山 和輝(赤湯中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・一〇〇m背泳ぎ
・優勝 高内 愛斗(山形十中)
・五位 伊藤 太一(金井中)
・六位 太田 獅音(天童四中)
・二〇〇m背泳ぎA
・優勝 伊藤 太一(金井中)
・四位 石井 慧界(蔵王一中)
・一〇〇m背泳ぎB
・優勝 伊藤 太一(金井中)
・優勝 伊藤 太一(金井中)
・一〇〇m平泳ぎ
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・二〇〇m平泳ぎ
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・二〇〇m平泳ぎB
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・四〇〇m個人メドレーA
・優勝 小原希々颯(天童一中)
・二〇〇m自由形
・優勝 小原希々颯(天童一中)
・八位 熊倉 快(山形二中)
・四〇〇mフリーリレー 優勝
・八〇〇mフリーリレー 二位
・女子 団体 七位
・五〇m自由形
・二位 大貫 愛花(東根一中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二位 大貫 愛花(東根一中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・四位 小原希々颯(天童一中)
・四〇〇m個人メドレー
・優勝 小原希々颯(天童一中)
・東北高等学校総合体育大会 男子 団体 三位
・一〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二位 伊藤 康太(山形六中)

男子バレーボール部

・村山地区高等学校総合体育大会 男子 団体 県大会出場
・山形県高等学校総合体育大会 ベスト4
・山形県高等学校総合体育大会 ベスト8

・村山地区高等学校総合体育大会 男子 団体 県大会出場
・山形県高等学校総合体育大会 ベスト4
・山形県高等学校総合体育大会 ベスト8

・一〇〇m背泳ぎ
・優勝 高内 愛斗(山形十中)
・二〇〇m背泳ぎ
・優勝 高内 愛斗(山形十中)
・一〇〇m平泳ぎ
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・五〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・四位 高内 愛斗(山形十中)
・一〇〇m背泳ぎ
・優勝 高内 愛斗(山形十中)
・二〇〇m背泳ぎA
・優勝 高内 愛斗(山形十中)
・四位 高内 愛斗(山形十中)
・一〇〇m平泳ぎ
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・二〇〇m平泳ぎ
・優勝 佐藤 陽(天童二中)
・四〇〇m個人メドレーA
・優勝 小原希々颯(天童一中)
・二〇〇m自由形
・優勝 小原希々颯(天童一中)
・八位 熊倉 快(山形二中)
・四〇〇mフリーリレー 優勝
・八〇〇mフリーリレー 二位
・女子 団体 七位
・五〇m自由形
・二位 大貫 愛花(東根一中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二位 大貫 愛花(東根一中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・四位 小原希々颯(天童一中)
・四〇〇m個人メドレー
・優勝 小原希々颯(天童一中)
・東北高等学校総合体育大会 男子 団体 三位
・一〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二〇〇m自由形
・優勝 伊藤 康太(山形六中)
・二位 伊藤 康太(山形六中)

- ・四〇〇m個人メドレー
出場 小原希々颯(天童一中)
第四十四回JOCジュニア
オリンピックカップ 男子
二〇〇m自由形 山形六中
出場 伊藤 康太(山形六中)
一〇〇m背泳ぎ
出場 高内 愛斗(山形十中)
二〇〇m背泳ぎ
出場 高内 愛斗(山形十中)
一〇〇m平泳ぎ
出場 佐藤 陽(天童二中)
- ・男子テニス部
・MUF全国ジュニアテニス
トーナメント
シングルス
出場 池野 匠(山形六中)
東北ジュニアテニス選手権山形選考会
U18シングルス
優勝 阿部 志芽(山形六中)
二位 齊藤 拓海(山形四中)
三位 後藤 魁羅(山辺中)
四位 三澤 虎翔(山辺中)
U16シングルス
二位 池野 匠(山形六中)
四位 小川 郁哉(山辺中)
村山地区高等学校総合体育大会
団体 優勝
シングルス
優勝 遠藤 大空(朝日中)
四位 池野 匠(山形六中)
五位 後藤 魁羅(山辺中)
ダブルス
優勝 齊藤拓・池野
二位 後藤・遠藤
山形県高等学校総合体育大会
団体 優勝
シングルス
優勝 阿部 志芽(山形六中)
二位 池野 匠(山形六中)
四位 遠藤 大空(朝日中)
ダブルス 優勝 齊藤拓・池野
三位 阿部志・遠藤
三位 多田・渡邊
国民体育大会山形県予選会
シングルス
優勝 遠藤 大空(朝日中)
二位 後藤 魁羅(山辺中)
三位 阿部 志芽(山形六中)
三位 池野 匠(山形六中)
全国高等学校総合体育大会
団体 出場
シングルス
出場 阿部 志芽(山形六中)
出場 池野 匠(山形六中)
ダブルス
出場 齊藤 拓海(山形四中)
池野 匠(山形六中)

- ・男子ハンドボール部
・村山地区高等学校総合体育大会
・山形県高等学校総合体育大会
第三位
・山形県春季ジュニアダブルス選手権
二位 藤井・茂木
三位 須藤・他校生
村山地区高等学校総合体育大会
団体 二位
シングルス
二位 藤井 茂木
三位 須藤 愛・長岡
ダブルス
二位 茂木 音羽(金井中)
三位 茂木 藤井
山形県高等学校総合体育大会
団体 二位
シングルス
二位 茂木 音羽(金井中)
三位 須藤 愛(山形六中)
ダブルス
二位 須藤 朱梨(東根二中)
三位 荒木・須藤
東北選抜ジュニアテニス選手権
大会山形県予選会
シングルス
二位 茂木 音羽(金井中)
三位 藤井 美咲(山形六中)
東北ジュニアテニス選手権大会
シングルス
ベスト16
ベスト8
須藤 朱梨(東根二中)
ベスト16
茂木 音羽(金井中)
ダブルス
ベスト8 藤井・茂木
国民体育大会山形県予選会
シングルス
三位 茂木 音羽(金井中)
四位 石澤 慧翔(天童三中)
五位 金村 旭朗(山形二中)
全国中学校高等学校ドリム
マッチプレー選手権
二位 回戦進出
秋葉 怜奈(天童三中)
第二十六回日本ジュニアゴルフ大会
四十五位 工藤 颯太(神町中)
全国高等学校ゴルフ選手権
男子 団体 二十七位
個人
四十二位 工藤 颯太(神町中)

- ・女子ハンドボール部
・村山地区高等学校総合体育大会
・山形県高等学校総合体育大会
二位
・山形県春季ジュニアダブルス選手権
二位 藤井 茂木
三位 須藤 愛・長岡
村山地区高等学校総合体育大会
団体 二位
シングルス
二位 茂木 音羽(金井中)
三位 茂木 藤井
山形県高等学校総合体育大会
団体 二位
シングルス
二位 茂木 音羽(金井中)
三位 須藤 愛(山形六中)
ダブルス
二位 須藤 朱梨(東根二中)
三位 荒木・須藤
東北選抜ジュニアテニス選手権
大会山形県予選会
シングルス
二位 茂木 音羽(金井中)
三位 藤井 美咲(山形六中)
東北ジュニアテニス選手権大会
シングルス
ベスト16
ベスト8
須藤 朱梨(東根二中)
ベスト16
茂木 音羽(金井中)
ダブルス
ベスト8 藤井・茂木
国民体育大会山形県予選会
シングルス
三位 茂木 音羽(金井中)
四位 石澤 慧翔(天童三中)
五位 金村 旭朗(山形二中)
全国中学校高等学校ドリム
マッチプレー選手権
二位 回戦進出
秋葉 怜奈(天童三中)
第二十六回日本ジュニアゴルフ大会
四十五位 工藤 颯太(神町中)
全国高等学校ゴルフ選手権
男子 団体 二十七位
個人
四十二位 工藤 颯太(神町中)

- ・文化 部
吹奏楽部
・全日本吹奏楽部コンクール
村山地区大会 優秀賞
・全日本吹奏楽部コンクール
山形県大会 金賞
美術部
・全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門
出品 長濱 日和(山形六中)
写真部
・第二十一回フォトコンテスト
最優秀賞
三部菜々穂(山形三中)
・全国高等学校総合文化祭
出品 長沼 佳奈(山形六中)
生物部
・全国高等学校総合文化祭
自然科学部門
自然科学部門
出場 今野 恭香(蔵王一中)
仲野 恭平(天童一中)
演劇部
・第六十二回定期公演会 開催
書道部
・県民ふれあい書道展
長井市長賞
勝又 颯花(天童一中)
放送部
・第五十一回山形県高校放送コンテスト
テレビドキュメント部門 優勝
ラジオドキュメント部門 四位
・第六十八回NHK杯全国高校
放送コンテスト
テレビドキュメント部門 出場
ラジオドキュメント部門 出場
・第四十五回全国高等学校総合
文化祭
ビデオメッセージ部門 出場
ダンスドリル部
・全国高等学校ダンスドリル選手権
大会東北大会(〇二二)
ノヴェルティ部門 優勝
Jazz部門small編成 優勝
SONG/POEM部門small編成 優勝
大会(〇二二)
ノヴェルティ部門 二位
Jazz部門small編成 三位
SONG/POEM部門small編成 三位

県縦断駅伝で激走
「森谷 翔 教諭」
四月二十七日(二十九日)にかけて開催された山形県縦断駅伝に、本校国語科教諭の森谷翔が出場した。森谷教諭は普段陸上競技部の顧問として、生徒を指導しつつ共に練習に励んでいる。駅伝チームに所属した二年目は補欠、二年目となる昨年はコロナにより大会が中止となり、走ることが叶わなかった。そして今年、地道な練習の努力が実り、三年越しに夢をつかんだ。本番では、冷静なペース配分と持ち味の粘り強さを発揮し、堅実な走りをみせた。「文武両道」がモットーという森谷教諭は、既に来年の大会を見据えている。今年には走行距離重視の走り込みを行うだけではなく、スピード練習にも力を入れ、10キロやハーフマラソンの自己ベスト更新を目指していくという。多忙な仕事を行いつつ練習に励む教諭の姿は、必ずや生徒の手本となるだろう。秋風の吹くこの頃、真新しいシューズに足を入れ、今日も山形の街を駆け抜けていく。



- 令和3年度 特待生 奨学生 決定**
日本大学付属高等学校 特待生
早坂 えり(山形一中)
荒井 斗希(山形四中)
大河原菜香(山形六中)
日本大学山形高等学校 奨学生
木村 百葉(上南山中)
保科 紅華(小国中)
阿部 颯斗(山形六中)
阿部 汐里(山大附中)
山川 隆介(山形五中)
井上 遙太(山形三中)
原 孝太郎(山形五中)
佐藤 亜海(沖郷中)
今野 心(山形三中)
遠田 樹生(山形五中)
山口 優吾(山形三中)
黒沼 錬(山形十中)
日本大学山形高等学校 コカ・コーラ育英奨学生
岡 知里(山形三中)
浅野 奨多(東根一中)
高橋 咲(山大附中)
佐藤 光紗(山形四中)
宮崎 航平(山形十中)
清水 大樹(山形三中)

学校説明会 (事前申込み・定員制)

- 第1回 10月2日(土)
- 第2回 10月23日(土)
- 第3回 11月14日(日)
- 第4回 11月20日(土)
- 第5回 12月11日(土)

開場 9:00
 受付 9:00~9:30
 説明会 9:30~10:50

以下は希望制になります。

- ・特進コース説明会 11:00~11:40
- ・部活動見学 11:00~12:00
- ・校舎見学 11:00~11:20
11:40~12:00
- ・個別相談 11:00~

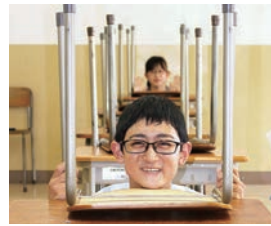
※全体会ならびに特進コース説明会は事前の申込みが必要です(定員制)。
 本校ホームページよりお申込みください。
 [受付開始: 9月1日(水)正午, 受付締切: 各回の3日前の正午]
 ※上履きをご持参ください。
 ※状況により予定を変更する場合がありますので、参加前に本校ホームページでご確認ください。



ファフロツキーズ

小さい頃からオカルトが大好きだった。「空からの落下物」を意味する「ファフロツキーズ」現象は、人生で一度は体験してみたいロマンスである。

美術部門
 作者:長濱 日和
 (山形六中)



俺、この席ね!

教室内のシンメトリーを探し、少しコミカルに仕上げてみました。

写真部門
 撮影者:長沼 佳奈
 (山形六中)

第45回 全国高等学校総合文化祭 出品作品

フォト・ア・カイト



3年 体育祭



2年 体育祭



体育祭 クラス対抗リレー



日大推薦基準説明会



ZOOMを用いた壮行式



目指せ甲子園



スタンドからのエール



優勝の瞬間

日本大学山形高等学校校広報部
 〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五
 電話 〇三三一六四一 一六六三一(代)
 FAX 〇三三一六四一 一六六三四
 URL https://www.ymg.hs.nihon-u.ac.jp
 印刷 (株)大風印刷
 写真提供 フォトイシヤマ



岡澤セオン選手の応援



桜華祭 吹奏楽部



桜華祭 ダンスドリル部



桜華祭 美術部

編集後記
 コロナの影響により各種大会や行事が中止となった昨年、その悔しさを力に変え、爆発させた夏の甲子園県予選会。四年ぶりに野球部が甲子園出場を決め、全国でも存在感を示す活躍をみせた。
 また、延期となっていた東京オリンピックパラリンピックも開催され、本校出身の岡澤セオン選手と齋藤元希選手が出場し、健闘した。オリンピックで特に印象に残ったのは、陸上競技男子八〇〇m準決勝での出来事だ。脚が絡まり転倒してしまつた二人の選手が、互いに手を取り合い、そしてゆっくりジョギングをしながら最後まで走り切つた。「国境」がなくなった瞬間である。二人の姿に世界の人々が感動した。改めて、スポーツの持つ力を思い知らされる。
 オリンピック閉幕後、南シナ海情勢をめぐる米中の争いやアフガニスタンにおけるタリバンの軍事行為など、国際問題のニュースは止むことを知らない。コロナの収束もまだまだである。メダルを目指すライバル同士が共に手を取り合つてゴールしたように、全ての国が手を取り合い助け合う平和な世の中になつて欲しいものである。